



行政視察報告書

令和 6 年 10 月 25 日

笠岡市議会議長 殿

(出張者) 議員 藪田 誠二 郎



下記のとおり行政視察を実施したのでその結果を報告します。

記

【1】大阪府大東市 もりねき企画

住 所	大阪府大東市北条 4-3- 9
電 話	072-306-2050
視察案件	市営住宅及び跡地の公民連携での再生プロジェクトについて
期 日	令和 6 年 10 月 9 日(水) 13 時 30 分から 15 時まで
応 対 者	もりねき企画 代表 竹中雄一 様
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	もりねき住宅 等
概 要	大阪府大東市の昭和 40 年代の老朽化した市営住宅の再建と跡地利用について学ぶ。岩手県オガールをモデルに「市長がこれをするぞ」と morineki プロジェクトがスタート。事業費 16.3 億円。うち商業施設部分 4.9 億。借り上げ市営住宅箇所 11.4 億円。予算裏付けは銀行融資 10.3 億、大東市優先株 6 億円、大東市普通株、コーミン普通株各 100 万円。自治体、地域事業者、地域金融機関が連携、協力して行った。 大東市の職員をオガールに派遣させ、経験と検知、人脈を作る。もりねき住宅の商業地は民間運営、手掛けた会社は本社を二階に移転させ、一階部分を子育て世代をターゲットに、オシャレなカフェやレストラン、パン屋、雑貨屋さんなどを併設したエリアとなっている。食堂は社員食堂も兼ね一般の人でも利用できる。商圈は大東市だけではなく大阪圏で考え、ビジネス的なことも考慮している。 立役者の一人竹中さんは民間運営会社からのプロジェクトの中心人物、もりねきの物語を伝える『語り部』が必要と決心し、今は会社を退職し、もりねき書店の店長をしながら、地域住民への理解、啓蒙、外部へと発信をしている。この書店の店舗も、大学生の授業の一貫としてデザイン設計を任せるなど、学生たちを積極的に関われるようプロジェクトを手掛けている。どの試みもととても示唆にとんだ成功事例として、笠岡市での今後の参考にすべきことは大いにあると感じている。
添付書類	視察資料 視察状況写真 名刺

【2】大阪府泉佐野市

住 所	大阪府泉佐野市市場東 1-1-1
電 話	072-463-1212
視察案件	オーガニック給食（有機給食）導入について
期 日	令和6年10月10日（木）13時30分から15時まで
応 対 者	泉佐野市教育部学校給食担当理事 田中伸宏
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	泉佐野市役所
概 要	大阪の泉佐野市へオーガニック給食導入の背景、経緯を学ぶ。市民、市議たちの要望から導入を考え始め、国の方針で日本全体の農産物の25%をオーガニック、有機農業に変える動きがあるなどSDGsの観点からも理解を深めていく。 導入の鍵となったのはビオ・マーケットという会社。業者に連絡を取り価格調査を実施すると、野菜を有機農産物に変更しても費用が想定より安価であることが分かる。食米については地元産率100%を維持しつつも、特別栽培の食米の導入を決める。当初、JA、地元農家の反発が多くあったそうだが、丁寧な説明により今は理解を得て、JAに至っては「私達から変わらないといけない…」と社会を変えていこうと意識の啓蒙にもなったという。 オーガニック給食は、保護者の反応もとても良く、シティープロモーションに大きく貢献しており、その流れから、地域の人たちが地域コミュニティとしてオーガニックの農業を体験する場所をつくる話があるなど、自然生態系を考慮したライフスタイル、食と農の大切さを地域で実践する街となっている。 オーガニック給食の導入をキッカケに、社会を変えるキッカケを提案したという点でも示唆にとんだ事例と言える。また、泉佐野市はそのことを最初から意識した上で行動をした点でも評価に値する。笠岡市でも今後のまちづくりに大いに参考にするべきである。
添付書類	視察資料 視察状況写真 名刺

【3】京都府向日市

住 所	京都府向日市寺戸町中野 20
電 話	075-874-3540
視察案件	新庁舎の建設について
期 日	令和 6 年 1 0 月 1 1 日 (金) 1 0 時から 1 2 時まで
応 対 者	総務部財産管理課主席係長大八木駿佑、課長 小川聖治
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	向日市役所
概 要	向日市は、市庁舎と市民会館が古く、平成 27 年耐震診断実施、市民会館は閉館、市庁舎は I_s 値 0.18 (構造耐震指標) と大規模補強が必要となりすぐに使用不可とし、新庁舎・市民会館複合施設として建て替え決定。基本方針を定め、平成 31 年 3 月実施設計、施工契約。デザイン&ビルド方式。令和 2 年 12 月計画から 5 年で完成する。向日市では、「どうせいつかしないといけない」「何かあった後では…」そんな声の懸念もあり、新庁舎・市民会館複合施設として建て替えをすぐに決断できたという。笠岡市庁舎も似た状況であるが、耐震補強は行ってきたが危険なまま今に至っている。今後、早急に建て替えの必要性がある旨を市民に伝え、実現に向けて動く必要がある。 また、向日市では建て替える時に、市庁舎と市民会館が併設しているメリットもあり、市民の声から、高層階に向日市の街を一望できるレストランを併設が決まり、職員や市民も利用するなどコミュニティの役割も担っている。街の状況に差はあるものの、笠岡市庁舎を立て直す上で、市民の声を考慮した魅力ある市庁舎になることが望まれる。
添付書類	視察資料 視察状況写真 名刺